

「稲城市医療計画」あるべき医療提供体制の実現に向けた取組状況について
(平成31年度)

I. 初期救急の充実、プライマリーケアの充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★時間外・夜間救急の充実 ★一次救急と二次救急の機能分化の推進 ★適切な救急医療情報の提供	市内の医療機関への夕方以降の外来診療に対する支援	講演会、事業等実施時に、適正受診に関する啓発普及を実施する。現状を把握するため、医師会と情報交換を引き続き実施をする。国保データ等を用いた受診状況が把握できるか検討を実施する。	適正受診に関する啓発リーフレットを3歳児健診受診者へ883部、健康づくり関係講演会等の参加者へ100部配布した。適正受診に関する広報を12/15号に掲載した。医師会への調査について、調整を行い、引き続きの検討となっている。
	基幹型の夜間診療所設置等の検討	現状を把握するため、医師会と情報交換を引き続き実施をする。国保データ等を用いた受診状況が把握できるか検討を実施する。	医療計画内容確認を行った。平日夜間、休日急病事業情報交換を行った。「稲城回復期リハビリテーション病院(仮称)」に対し、医療計画に基づいて休日診療事業実施の要望を行った。東京都が令和元年中に策定予定の東京都外来医療計画に対し、医師会と連名で東京都へ意見書の提出を行った。
	市内に住居を構える医師を市として支援	小田良、南山へ開業する病院へ各師会加入及び市内在住を依頼していく。(災害時等の対応も含め)	南山へ開業する「稲城回復期リハビリテーション病院(仮称)」へ医師会加入の依頼を行った。(災害時等の対応も含め)

II. 二次救急の充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★二次医療圏及び近隣地域で中等症の患者をカバーできる体制の構築支援 ★市内の医療機関と稲城市消防(救急救命士等)と更なる連携強化 ★救急当直医等の医師負担軽減策	医療機関に対する医師、看護師確保の支援	医師会と意見交換、情報交換の実施。 引き続き駒澤女子大学 看護科教育課程の担当者と調整しながら、講義を実施する。	特に実施しなかった。 駒澤女子大学 看護科教育課程へ稲城市の地域医療状況の講義を行い、稲城市への関心を高めた。
	人材の「質」確保に向けたコメディカルの研修等	引き続き、コメディカルスタッフに機会を捉えた研修等を受講させる。	院内で実施する「医療安全」などの必修研修には医師、看護師、コメディカル、事務、すべての職種が参加した。「医療・介護関係者の研修」として、医療連携勉強会と称して、当院及び地域の医療関係者、介護関係者向けではあるが、当院スタッフも参加し、当院の医師、看護師を講師に、在宅での患者も多い「糖尿病と腎不全」を実施した。
	市立病院の夜間勤務、救急対応医師・看護師等への支援等	引き続き検討する。 休日急病診療事業 入院について、医師会へ事業の継続実施をする。	引き続き検討とする。 休日急病診療事業 入院について、医師会事務局へ情報交換を実施した。
	内科、整形外科、脳神経外科の機能強化・充実の検討	引き続き検討する。	引き続き検討とする。

III. 回復期・慢性期病床の確保・充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★回復期・慢性期病床の確保・充実 ★在宅医療を担う市内の医療機関の後方支援の推進	地域包括ケア病床の確保等	引き続き検討する。 在宅医療支援病床確保事業の継続 東京都地域医療構想調整会議に出席し、医療圏の動向について引き続き把握する。 引き続き、「稲城回復期リハビリテーション病院(仮称)」の進捗状況を確認する。	引き続き検討とする。 在宅医療支援病床確保事業を継続実施。利用件数11件、利用延べ日数82日、稼働率22.4% 令和元年6月に、東京都が病床配分を1年間停止した事に対する意見徴収を行った際に、病床配分方法について意見書の提出を行った。

IV. 診療科の充実(外来)

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★内科の充実 ★小児科の充実 ★耳鼻咽喉科の充実 ★眼科の充実 ★産婦人科の充実 ★整形外科の充実	診療所の開設支援等(内科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、整形外科等)	引き続き、市街地整備課へ協力を依頼しながら街開きなどの情報収集に努め、医療機関誘致も含めた街づくりの検討等について、機会を捉えて随時協議をする。 小田良地区の医療モール統括業者へ情報提供を求め、進捗状況の把握に努める。	「稲城回復期リハビリテーション病院(仮称)」に対し、地域で今後充実を希望する診療科を要望した。 小田良地区のソコラ若葉台に「歯科」が開業された。「耳鼻科」の開業予定はあるが、開業時期については未定である。引き続き医療モール統括業者へ、医療計画に基づき、充実を希望する診療科について要望した。

V. 在宅医療の充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★在宅療養後方支援の機能強化 ★市内の医療機関の在宅医療推進を支援 ★在宅医療に関する市民への普及啓発 ★訪問看護師の確保・育成・支援	市内医療機関におけるがん患者への対応強化	身体状況の緩和を担当する医師1人、精神状況の緩和を担当する医師1人の医師2人、緩和ケアの専門知識と経験を有する「緩和ケア認定看護師」2人と薬剤師1人の合計5人からなる「緩和ケアチーム」を設置している。	緩和ケアを必要とする悪性腫瘍及び末期心不全等の患者・家族への対応についての基本方針を定め、チームで患者や家族の苦痛緩和、QOLの維持・向上を図るため、安全で質の高い、切れ目のない医療の提供を始めた。
	治療・療養期までの切れ目ない体制構築の支援	在宅医療後方支援病床確保事業の継続。在宅医療・介護連携推進協議体にて、在宅医療に関するパンフレットの作成。市民向け講演会の実施。 引き続き、在宅療養後方支援病院として、在宅患者の急性疾患に対して入院治療を行う。また、地域医療連携により在宅医療機関の診療支援を進める。	【再掲】在宅医療支援病床確保事業を継続・実施。利用件数11件、利用延べ日数82日、稼働率22.4%。 在宅医療・介護連携推進協議体にて、在宅医療に関するパンフレットを作成。 市民向けシンポジウムの実施。 在宅療養後方支援病院として、在宅患者の急性疾患に対して入院治療を行った。また、地域医療連携により在宅医療機関の診療支援を進めた。
	訪問看護ステーションに対する支援策(東京都事業)等の活用	訪問看護部会に情報提供(平成30年度訪問看護推進総合事業【東京都】)	特に実施しなかった

VI. 認知症への対応

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★認知症専門医やサポート医の充実 ★認知症疾患医療センターとの連携 ★認知症に対する相談機能の充実 ★認知症に関する関係機関との連携による本人及び家族への支援	市内の医療機関での認知症対応の強化・充実(身体疾患を併発されている患者等への治療充実等)	引き続き検討する。	引き続き検討とする。
	認知症疾患医療センター、認知症地域支援推進員(認知症支援コーディネーター)及び関係機関との連携、認知症ケアパスの活用	認知症ケアパスの改定・認知症施策説明会の開催・認知症支援コーディネーター通信発行。認知症カフェの開催。 引き続き推進する。	◆認知症ケアパスを令和2年3月に改訂。 ◆認知症及び、高齢者虐待に関する連絡会を開催し、関係機関の連携を図った(令和2年2月13日実施)。 ◆令和元年6月から認知症カフェを18回開催。NPO法人ひまわりの会・まちの保健室の運営支援と認知症サポーターに協力いただいた。 ◆認知症支援コーディネーター通信発行(6月)

VII. 市内における地域医療連携機能の強化

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	平成31年度 具体的に目標とする取組等	平成31年度 結果(進捗状況)
★病診連携及び在宅医療介護連携の推進 ★稲城市在宅医療・介護連携支援センター(いなぎ在宅医療・介護相談室)の活用	稲城市在宅医療・介護連携支援センター(いなぎ在宅医療・介護相談室)の活用	相談事業から在宅医療・介護連携推進協議体にて課題抽出・分析。稲城市立病院にて実施されている医療介護連携相談窓口、各地域包括支援センターの相談員も同席し、地域資源の紹介や顔の見える関係作りを行う。	第2回在宅医療・介護連携推進協議会にて、いなぎ在宅医療・介護相談室より、「稲城市在宅医療・介護連携事業所等一覧」の活用状況の報告を頂いた(令和元年9月13日に実施)。 稲城市立病院にて実施されている医療介護連携相談窓口、各地域包括支援センターの相談員が11回同席。第4回在宅医療・介護連携推進協議会にて、稲城市立病院より、その取り組みの報告や課題分析を頂いた(令和2年2月14日に実施)。